

第6学年 道徳学習指導略案

1. 日 時 平成27年6月12日（金）4校時
2. 資料名 「だから わるい」（友だち）
3. ね ら い フェアでないことや、ほうっておけないことへの関心を高め、傍観者的な態度を改めようとする意欲を培う。
4. 人権教育の内容 自立向上の精神の育成3－（1）－ア

学 習 活 動	指導上の留意点
<ol style="list-style-type: none"> 1. 教材文を読み、状況を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> ・犬の様子 ・猫の様子 ・女の人が男の子たちを叱った 2. なぜ女の人が男の子たちを叱ったのかについて、考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・見ているだけで何もしなかったから ・猫がいじめられているのに助けなかったから 3. 続きの言葉・題名を知って、感じたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「何が悪いの？」 ・ほうっておいたこと ・女の人が言いたかったことは 4. 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱりそっとしておくほうがいい ・解決に向かうためにはほうっておいてはいけない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犬と猫の様子を詳しく発言させることで、「強者」と「弱者」の構図を明確につかませる。 ○ 左記のように、女の人がなぜ叱ったのかを確認できれば、「その何がいけないのか」と問い、次の活動につなげていく。 ○ 「何も悪くない」と感じる子と、「悪い」と感じる子に分かれるだろう。子供たちの意見のやりとりにまかせてみる。 ○ 話し合いに行き詰まってしまったり話題がそれてしまったりする場合には、「自分が猫の立場だったらどうされたいか」という観点で話し合いを整理する。 ○ 自分たちの生活の場面で、今後どう行動していくべきなのか各自で考えさせて、学習のしめくくりとしたい。